

# 在留外国人と言語(第2講)

言語サービスの主体

# この講座で学ぶこと

- ▶ 言語サービスを提供する主体は誰であるか考える。
- ▶ 外国人の現状を知って、在留外国人のかかえる言語問題について説明できる。
- ▶ 言語サービスを見る。また、多言語サービスとはどのように異なるのか知る。
- ▶ 大阪の八尾市の実状を知る。



# 増大する外国人へのネーミング

- ▶ ネーミングとは、言語サービスの対象者を定義するものであるから、非常に大切である。→第1講を参照のこと
- ▶ 日本に住んで言語サービスを受ける外国人の特性の多様性を示すために表現の多様性が見られる。
- ▶ 在留外国人
- ▶ 在日外国人
- ▶ 外国人市民
- ▶ 外国人住民



# 誰が言語サービスをおこなうか（1）


- ▶ 言語サービスは、扱う情報は公共性が高く、実際に外国人に接することが多いので、地方自治体が担当するのが望ましい。
- ▶ その根拠として以下の条文を参照する。
- ▶ 地方自治法第10条では、第1項に、「市町村の区域内に住居を有する者は、当該市町村及びこれを包括する都道府県の住民とする」とある。
- ▶ 第2項では、「住民は、法律の定めるところにより、その属する普通地方公共団体の役務の提供をひとしく受ける権利を有し、その負担を分任する義務を負う」とある。

# 誰が言語サービスをおこなうか（2）

- ▶ 地方自治体以外にも補完的に以下の組織・個人が担う場合がある。
- ▶ 国際交流協会→市民による草の根の国際交流活動を支援する中核組織である。
- ▶ ボランティア→右側の写真は国際交流協会が募集をしている。
- ▶ 一般市民
- ▶ NPO/NGO
- ▶ 教会(カトリック教会では、中南米、フィリピンなどの信徒が多い)
- ▶ 銀行、電力会社、鉄道などの公的要素を持つ企業



# 相談窓口を提供すること

- ▶ 同国人との相談は、相談者自身が自分の考えをまとめることにもつながる。さらには、同国人と話すことで心理的な安心を得る効果もある。
- ▶ 金沢市→英語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語の通訳がいる。
- ▶ 八尾市→中国語（週2回）、ベトナム語（週1回）
- ▶ 離婚や失業などの深刻な相談は専門家が必要（例、弁護士）。
- ▶ 金沢市の例→法律相談（月一回、第3水曜日）がある。金沢弁護士会から人が派遣されている。相談は無料である。

# 八尾市の例

- ▶ 大阪の近郊にあり、現在の人口は、259,499人(2023年9月末日) であり、外国人の比率は3.0%である。
- ▶ 以前より、多文化共生社会を意識して、市内に住む外国人へのサポートを行っている。その1つとして、言語サービスが挙げられる。



# 外国人市民のための相談サービス(八尾市の例)

- ▶ 八尾市に住む外国人市民が日本で安心して生活できるよう、日常のくらしの中で困ったこと、知りたいことなどの相談サービスを行っています。



◆詳しくは、こちらをクリックしてください。(中国語、ベトナム語、韓国朝鮮語対応)外国人のための相談サービス (PDF:265KB)

- ▶ **－お問い合わせ－**  
人権文化ふれあい部 文化国際課  
TEL 072-xxxx-xxxx  
FAX 072-xxxx-xxxx



# パンフレットやホームページを通して生活情報を提供すること。

- ▶ 必要な情報→生活保護、国民健康保険、年金制度（このような制度がない国がある）、ゴミの出し方、公営住宅、運転免許の取得、などに関する情報が市役所などから提供される。
- ▶ パンフレットと比べて、ホームページが普及してきたので情報伝達のコストがかからなくなってきた。しかし、パンフレットならば、手元に置いて常に参照できるという利便性がある。
- ▶ パンフレットならば、多言語サービスといっても数に限りがあるが、ホームページならば、かなり言語数を増やすことができる。

# 八尾市国際交流センター



# 八尾市の外国人登録国籍別人数

## 2022年4月1日

▶

1	韓国・朝鮮	2,702人	35.1%
2	ベトナム	2,237人	29.1%
3	中国	1,919人	24.9%
4	フィリピン	283人	3.7%
5	ブラジル	59人	0.8%
6	タイ	58人	0.8%
	総数	7,693人	100%

# 八尾市国際化施策推進計画

- ▶ 通訳制度の充実
- ▶ 日本語学習機会の充実
- ▶ 公的医療機関での通訳制度の整備
- ▶ 多言語による情報提供の充実
- ▶ 外国人保護者のための子育て相談の充実
- ▶ 多言語文章作成による情報の提供及び保護者の交流
- ▶ 多言語による案内表示等の充実



# 八尾市外国人市民情報提供システム ニーズ調査（八尾市人権協会）

- ▶ ニーズ調査を踏まえていくつかの提案がされた。それは、今までバラバラであったサポートの総合化・体系化である。ニーズ調査によりそのための基礎資料が得られた。



- ▶ ホームページの多言語化
- ▶ FMちゃおの活用
- ▶ 多言語情報誌の作成（外国人住民の参加）
- ▶ 通訳者をリストアップ（常に通訳サポートできるシステム作り）
- ▶ 日本語教育の支援（交流センターで1対1で行う）
- ▶ 情報となる拠点をマップにする（どこに行けば、どの情報が得られるか分かるようにする）

# 岐阜市国際交流センター

- ▶ 公益財団法人岐阜県国際交流センター（通称GIC） Gifu International Center
- ▶ そのホームページより
- ▶ 「地域に根ざした国際交流拠点として、岐阜県の豊かな自然環境、歴史、文化、その他の資源をいかした国際交流活動を通じて、多文化共生社会の実現を図るとともに、諸外国との相互理解と友好親善に寄与することを目的としています。」
- ▶ 国際交流員
- ▶ 日本語教材の貸し出し
- ▶ 交流サロンの使用
- ▶ 外国人就労実態調査

# 課題

- ▶ 自分が経験した外国人とコミュニケーションするときの問題点を互いに紹介しよう。
- ▶ 自分の住んでいる市町村が外国人へどのようなサポート体制を取っているか調べてみよう。
- ▶ サポート体制の中で、言語サービスを特に調べてみよう。
- ▶ 日本全体が「内なる国際化」を実現するために、必要なことを考えてみよう。

